

科目区分	専門教育科目	科目名	栄養教育指導論実習 I		科目コード	19S600	担当者	古賀 克彦			
対象学生	栄養士コース 1年生		学期区分	後期	単位数	1	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
栄養指導を行う際に必要となるスキルを修得することを目標とする。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2. 「創造」 高度な知性と 創造力		3. 「実践」 明確な意思と 実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造力	⑤ 主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	栄養士として必須の技術である、献立作成能力を修得する										
2.	栄養指導に必要な各種指数を理解し、計算や評価を行うことが出来る技術を身につける										
3.											
4.								◎		◎	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物 (50%) 受講態度 (20%) 定期試験 (30%)					
実習形式											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出されたレポートは添削して返却。オフィスアワー等の時間に質問への対応を行う。 定期試験の結果については、追再試験期間中に対応する。						毎週30～60分程度 (課題制作時は2～3時間程度)					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	栄養指導論 I 概要説明 (オリエンテーション) 献立作成に関する講義① (献立作成とその流れ)					シラバスを読み、科目の概要を確認する。					
第2回	献立作成に関する講義② (食品構成表の作成方法について) 食品構成表の作成実習 (高齢者・常食1日分)					食品構成表を自ら作成できるように、課題に取り組む。(課題:食品交換表作成)					
第3回	献立作成に関する講義③ (給食に用いる料理① 主食、汁物、副菜) 【アクティブラーニング形式】 献立作成実習(1) (料理単位での献立作成①)					主食、副菜、汁物の献立作成について、課題を通して復習を行う。(課題:料理単位の献立作成)					
第4回	各種栄養指数についての説明および各種栄養指数を実際に計算【アクティブラーニング形式】					授業で学んだ栄養指数の計算について予め予習しておく。					
第5回	献立作成に関する講義④ (給食に用いる料理② 主菜、副菜、他) 【アクティブラーニング形式】 献立作成実習(1) (料理単位での献立作成②)					主菜・副菜の献立作成について、課題を通して復習を行う。(課題:料理単位の献立作成)					
第6回	脂肪摂取状況の各種評価指数の計算					臨床栄養学の教科書を用い、肥満と痩せ(るいそう)について予め予習しておく。					
第7回	献立作成に関する講義⑤ (1食分の献立作成のポイント) 【アクティブラーニング形式】 献立作成実習(2) (成人・常食1食分)					1食分の料理の組み合わせ方について、課題を通して復習を行う。(課題:1食分の献立作成)					
第8回	生活時間調査と消費エネルギーの算定および基礎代謝と身体活動レベルの算定					身体活動レベルの算定について、課題を通して復習を行う。(課題:生活時間調査と身体活動レベル算定)					
第9回	献立作成に関する講義⑥ (1日分の献立作成のポイント) 【アクティブラーニング形式】 献立作成実習(3) (成人・常食1日分、8点)					1日分の献立作成方法について、課題を通して復習を行う。(課題:1日分の献立作成)					
第10回	献立作成に関する講義⑦ (保育園の給食と献立作りについて①)					幼児の栄養特性について栄養教育指導論講義の教科書を用い予め予習しておく。					
第11回	献立作成に関する講義⑧ (保育園の給食と献立作りについて②) 【アクティブラーニング形式】 献立作成実習(5) (幼児、昼食および間食5日分(栄養価計算無し))					保育園の献立作成方法について、課題を通して復習を行う。(課題:保育園の献立作成)					
第12回	献立作成に関する講義⑨ (献立作成のポイントおよび行事食について) 【アクティブラーニング形式】 献立作成実習(6) (高齢者、常食1日分、8点)					1日分の献立作成方法について、課題を通して復習を行う。(課題:1日分の献立作成)					
第13回	食物摂取状況調査と摂取エネルギー量の算定					摂取エネルギー量算定方法について、課題を通して復習を行う。(課題:摂取エネルギー量の算定)					
第14回	たんぱく質及びアミノ酸摂取状況の各種評価指数の計算【アクティブラーニング形式】					生化学の教科書を用いてたんぱく質の分野について予め読み予習を行っておく。					
第15回	日本人の食事摂取基準、食品成分表の活用方法について					栄養教育指導論講義の教科書を用い日本人の食事摂取基準について予習を行っておく。					
試験	定期試験を実施する										
教科書	必要に応じて資料や冊子を配布します。				受講生への メッセージ	献立作成の能力は栄養指導だけではなく、給食管理にも必要となります。栄養士として働いていくうえで最も重要なスキルの一つですから、頑張って取り組んで下さい。また日頃から料理に興味を持ち、様々な調理関係の書籍を読み、調理経験を積んでおいてください。					
参考書等	なし										